



私にできること

瀬高中学校 二年 藤岡 梨紗

みんなの幸せ願って

「髪を寄付すること」を「ヘアドネーション」といいます。ヘアドネーションとは、伸ばした髪の毛を医療用ウィッグの素材として寄付するボランティア活動のことです。私は母からこの活動について教えてもらい、自分でも調べてみました。そして、この取り組みに賛同し、約二年間髪を切らずに伸ばし続け、去年の秋、その髪の毛を寄付したのです。寄付した髪の毛は、様々な工程を経て子ども用のウィッグに生まれ変わります。そうして、それを待つ子どものもとへと送られます。多くの人が時間をかけて丁寧にウィッグを作り上げているのです。

もし自分が病気などでウィッグが必要になったときに、それを手に入れることができるなら心強いし、とても嬉しいと思います。病気にかかって辛い思いをしているときに、見た目を気にしなくてもいいというだけでも、随分気持ちが悪くなると思うからです。

はほとんどがボランティアです。たくさんの人たちの協力で、医療用のウィッグは作られています。病気で苦しんでいる子どもたちを少しでも喜ばせたいという「優しさ」と「愛情」に満ちた思いがあるから、このボランティアは成り立っていると思えました。今回、私はこの活動に参加することで、「誰か」の役に立つことができました。自分ができることには限りがあります。でも、私はこれからも自分にできることを探し、積極的に活動していきたいです。そして、ボランティア活動に参加したことやそこで学んだことを色々な人に話して、ボランティアに興味を持つ人が増えるようにしていきます。困っている人だけではなく、誰もが安心して生活できる社会づくりのお手伝いが、今の「私にできること」だと思っています。



みやまに生きる人 vol.151

ノリ養殖業 杉野 由紀子さん

結婚を機に、みやま市の特産品である「福岡有明のり」の養殖に携わるようになった杉野由紀子さん。20年以上ノリを作っている夫と二人三脚でノリの生産を行っている。

「海に出るようになって8年になります。始めたばかりの頃は、言葉や道具が分からず、力作業も多くて辛かったです。1人ではできない作業ばかりなので、夫のサポートをしたいという思いで、これまで続けてきました」

時間をかけておいしいノリへ 「福岡有明のり」は豊かな風味と口溶けの良さが魅力だと思います。海水温が下がる9月からノリのシーズン。海に立てた支柱に、ノリのタネをつけた網を張り、天候などを考慮しながら育てていく。

みやま文芸

真清水俳句会

秋の日にルーツをしのぶ古写真
長き夜や目覚める数の多くなり
山頂で星をながめて野宿かな
口開けて鯉の近づく池落葉
秋うらら宮のベンチに腰おろし
柿熟るる山家の屋根は低くあり

清水句会

待つ甲斐の赤々のぼる今日の月
幾筋も飛機雲照らし今日の月
恙なく集ひてまこと良夜かな
雲もなく遮るものなき月見
満月や新幹線のおもちやめく
金色に法の山より望の月
幾筋も飛機雲伸びし秋高し

宮地 末子	森田 蓉子	梅野 博山	紙田 幻草	樺島美代子	平井 和子	綿貫 惇	田尻カツ子	綿貫 淑子	古賀 麗子	岩屋 清美	壇 篤子	猿渡 洋子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------



すぎの ゆきこ
オフシーズンに家族で旅行に行くことが楽しみ。実家はミカン農家。
【好きな言葉】
好きこそものの上手なれ
【みやま市にひとこと】
住み慣れているということもありますが、住みやすいまちだと思います。